

設立の趣旨

日本老年看護学会は、老年看護学の進歩・発展を図り、看護実践の質向上に寄与することを目的としています。

1995年11月23日に設立され、その後、順調に会員数を伸ばし、2009年6月には日本老年学会に加入しました。2016年4月1日には一般社団法人に移行し、2016年12月現在の会員数は、1970名です。

主な事業

■ 学術集会の開催

年1回（例年6月～7月）、学術集会を開催します。老年看護学に関する研究発表や実践報告のほか、シンポジウムや講演等が行われます。奇数年は日本老年学会との合同開催となります。

■ 学会誌の編集・発行

学会誌『老年看護学（Journal of Japan Academy of Gerontological Nursing）』を年2回発行しています。内容は、総説、原著論文、資料、実践報告等です。オンラインで投稿することができます。



■ 研究・教育活動の推進

様々な場で老年看護に携わる会員・非会員を対象に、実践、研究、教育の質の向上を支援するワークショップや学術集会における交流集会の開催、動向やニーズ把握のための調査活動等を行います。

■ 生涯学習を支援する研修等の企画・運営

老年看護に携わる実践者および教育者が、基礎的・実践的・応用的な知識とスキルを獲得する研修等を行います。

■ 優れた研究論文の表彰

『老年看護学』に掲載された論文の中から「研究論文優秀賞」および「研究論文奨励賞」を選考し、表彰します。

■ 老年看護政策の検討

診療報酬や介護報酬、看護政策に関する課題について、関連機関と連携し、情報発信や研究活動、政策提案を行います。

■ 地震や水害などにおける災害支援

さまざまな災害発生時に災害弱者となる高齢者と家族、およびその支援者に対する支援を検討しています。

■ 老人看護専門看護師・認知症看護認定看護師の活動支援

両看護師の組織化を推進し、事例検討会や研修を通して実践の質向上を支援します。

■ 立場表明やガイドラインの作成

老年看護実践の質向上に貢献する立場表明やガイドライン等の検討・作成を通して、老年看護に対する社会的要請に応えます。

入会のご案内

日本老年看護学会の入会には、「1. 看護学研究業績」、もしくは「2. 本学会の代議員の推薦」が必要です。身近に推薦者がいない場合でも、事務局からご紹介することができます。申込方法の詳細は学会ホームページをご覧ください。

◇年会費	10,000円
◇特典	学会誌（年2回） 学術集会での演題登録と発表、および学会誌への投稿 会員割引による学術集会や研修への参加 ニュースやメールマガジンによる情報配信
◇問合せ先	日本老年看護学会事務センター 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-1-1 オザワビル2F TEL：03-5206-7431 FAX：03-5206-7757 E-mail：rounenkango@nqfm.ftbb.net 学会ホームページ http://www.rounenkango.com/

立場表明

身体疾患の治療のために急性期病院で治療を受ける認知症の方が増える一方、身体拘束などの課題も指摘されています。

日本老年看護学会は、急性期病院で働く看護職者に対して看護の方向性を示すとともに、医療・ケアチームの連携協働を図り、かつ急性期医療を受ける認知症高齢者とその家族の安心と安寧を保证する看護を推進するために、以下の8つの立場を表明します。

「急性期病院において認知症高齢者を擁護する」 日本老年看護学会の立場表明 2016（抜粋）

- 立場1 認知症高齢者へのマイナスイメージを払拭します。
- 立場2 治療優先環境のもとで認知症高齢者本人を擁護します。
- 立場3 治療後の回復像に基づく生活像を家族と共有して早期退院を目指します。
- 立場4 急性期病院という制約下での本人重視の医療・ケアの推進策を提示します。
 - ①身体拘束を当たり前としない医療・ケア
 - ②高齢者の混乱や家族の我慢を助長する対応に気づく医療・ケア
 - ③認知症高齢者の生活像を描写する医療・ケア
 - ④生活像に基づく予期的個別ケアをチームで推進する医療・ケア
 - ⑤認知症高齢者に適さない医療・ケア環境ならびに慣習の改善
- 立場5 認知症高齢者に付き添う家族の忍耐と重圧への理解を深めます。
- 立場6 認知症と認知症ケアに関する知識を刷新します。
- 立場7 ガイドライン策定や診療報酬改定に向けたエビデンスを提示します。
- 立場8 学術的知見の蓄積により認知症看護の体系化を図ります。

※全文は、学会ホームページにて公開しています。



一般社団法人
日本老年看護学会
Japan Academy of Gerontological Nursing

ご案内